

半導体漫遊記

(274)

湯之上隆

現在、世界各地であり得ない規模の半導体の設備投資が行われようとしている。その中でも、韓国の「K半導体ベルト」構想には度肝を抜かれた。

韓国は2021年5月13日、サムスン電子の平澤事業所で開催された「K半導体ベルト」構想の報告会に出席し、

「K半導体ベルト」と呼ぶ。各拠点の役割を見てみると、ソウル近郊の京畿道の板橋には、ファブレス拠点「韓国ファブレスバレー」を設け、世界最大かつ最強の半導体供給網(サプライチェーン)を構築することを目指す。ソウル近郊の京畿道の板橋の板橋から器興、華城、平沢、天安、温陽へと南北につながる一帯、次に京畿道の龍仁から利川、陰城へ続く東西の一帯、さらには龍仁から槐山、清州に続く南東の一帯と、3つのラインがちょうどKの字のようになっていることから、これら全てを

驚きのK半導体ベルト構想

韓国、10年で50兆円投資

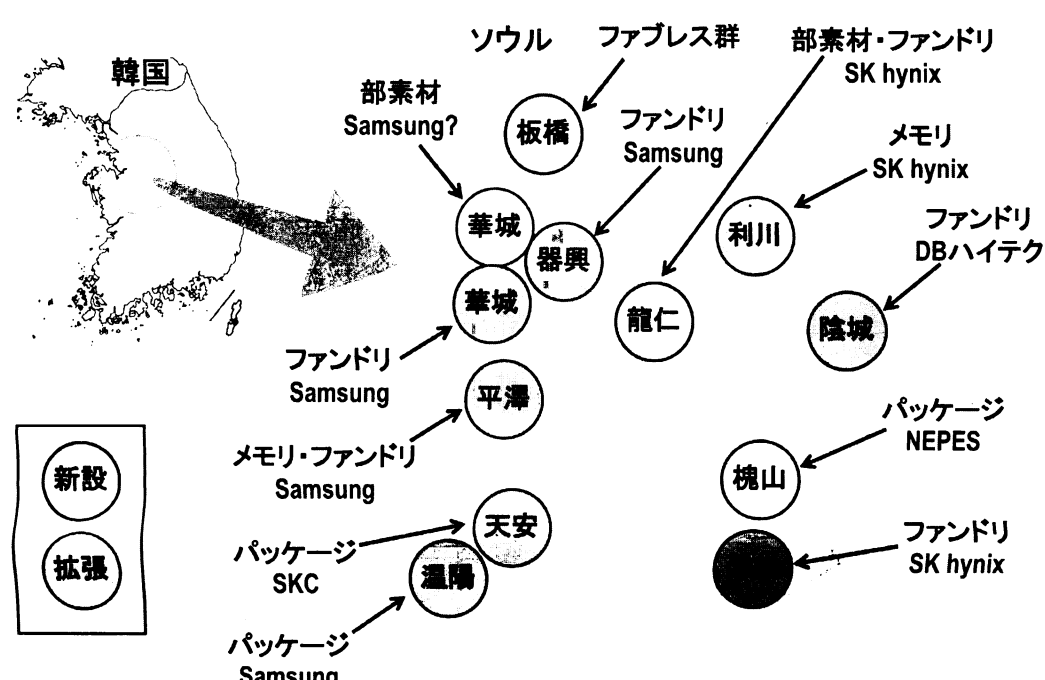
政府支援

「半導体メモリ世界1位の座を強固にし、システムLSIでも世界最高になり、30年までに総合半導体強国になる」という目標を必ず成し遂げる」と述べた(ソウル聯合ニュース 21年5月13日)。

この「K半導体ベルト」では、サムスン電子とSK hynix

ウル近郊の京畿道の板橋から器興、華城、平沢、天安、温陽へと南北につながる一帯、次に京畿道の龍仁から利川、陰城へ続く東西の一帯、さらには龍仁から槐山、清州に続く南東の一帯と、3つのラインがちょうどKの字のようになっていることから、これら全てを山、温陽、天安が挙げ

「それに使われる部品や設備」、材料、部材などを韓国国内で内製することを目指しているからだ。ここで、「韓国国内では短期的に技術の確立が難しいEUV露光、先端エッチング、素材分野は対内直接投資の誘致を拡大する」としているが、国内で開発できたものを出し、自国生産を指すことにした。この府の政策がブーメランのように帰ってきて、強化する決意が「K半導体ベルト」構想にな



韓国の「K半導体ベルト」構想

出所: 東洋経済日報(2021年5月21日)の記事を参考に筆者作成